NIE実践報告

1．タイトル：☆新聞に親しみ、記事を読もう

2．学校名

徳島県美馬市立芝坂小学校

3．実践者名（代表者名）

曽我部　富美

4．学年

第4学年

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

国語　8人

6．単元（本時の学習課題）名

記事を音読し、感想を話し合おう

7．目標（狙い）

国語科の発展教材として扱い、「前後の意味から分からない言葉の意味をとらえる」「多種多様な文に興味を持つ」「感想や批評をまとめながら読む」等の力を高める。

8．評価の視点

記事を音読して内容をつかみ、自分なりの感想をもっているか。

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数
（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

「新聞を音読し、感想を話し合おう」14時間

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

①新聞の特徴をとらえ、学習の見通しをもつ。（1時間）
②さまざまな記事（教師があらかじめ用意したもの）を音読し、感想をもつ。（5時間）
③児童が音読したいと思う記事を、自分で探す。（1時間）
④前時に選んだ記事を音読し、感想を話し合う。（1時間）　　＊③④の活動を繰り返す（8時間）

（留意点）
・習っていない漢字が多いので、上手に読めなくて当たり前だということを知らせ、音読に挑戦しようとする意欲と、読みや意味を推測しながら読もうとする態度を大切にする。
・分からない読みや意味はその都度質問させ、説明する。
・記事についてどう思うか、身近な例や自分の生活と比べて考えられるように助言する。
・記事選びに困った児童には、児童の興味や関心にそったものが見出しや写真から絞り込んでいけるように助言する。

11．児童・生徒の反応、感想・意見

動物や食べ物、新商品の話題を選ぶ児童が多かった。自分たちの生活をふりかえって、記事の内容と関連するような感想をもつことができた。

12．成果と課題

読むことに対する抵抗感が少なくなり、興味のある記事に対して、自分なりの感想をもつことができるようになった。新聞各紙に目を通し、教材として提示するまでにはある程度の時間と手間がかかることが課題である。